

第三者評価結果の公表事項（乳児院）

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐山後見センター

②施設名等

名 称：	麦の穂乳児ホームかがかき
種 別：	乳児院
施設長氏名：	横川 哲
定 員：	15 名
所 在 地：	中津川市千旦林1468-52
T E L：	0573-78-0270

③実施調査日

平成 25 年 9 月 17 日（火）～ 平成 26 年 3 月 31 日（月）

④総評

◇特に評価が高い点

施設長及び職員の情熱に支えられた運営であり、子ども一人ひとりを愛情を注ぎ、大切に育てるという姿勢が随所に見られる。制度の課題として『病気や障害を抱え、なお且つ社会的養護が必要な子どもの養育支援のあり方』を訴えながら日々真摯にチーム一丸となって実践にあたっている。「子どもの豊かな生活を保障する支援にこれで十分というものはない」との考え方に立ち、今後、更に良いものにしていきたいという意思を感じ、またたゆまぬ向上心も受け取った。第三者評価を受審するにあたり1年前から評価項目を吟味し、訪問時すでに改善された項目もいくつかあった。当施設は子どもたちの暮らしを包み込むような豊かな自然の中にあり、四季折々に子どもたちの心を育んでいる環境がある。庭にあるのびのびと空に届くような木々は「かがやき」の歴史を物語っている。子どもたちが心豊かに施設の生活を送れるようにと願い、長年かけて作られた環境(栗の木、竹林、ブランコ、池の鯉、菜園の野菜等)には愛情がこもっている。

◇改善が求められる点

長年にわたる培われた経験知や技術の蓄積があり、これらは一施設の福祉臨床の場に止めおかれるべきでなく、地域に還元され、より広く活用されるべきものと考えらる。乳児院の子どもたちの支援に最善を尽くすことは大切であるが、目を地域に注ぎ、潜在的に支援を求めている地域の子を持つ親に対して持てる経験・知識・知恵・技術等を多くの子育ての場にアプローチし、提供していく手立てを、これからの課題の一つとして研究されることを期待する。また、熱意ある実践が行われているが、一部文書化、マニュアル化、仕組み作りに十分と言えないところがあるので、今後、業務の標準化のため、マニュアル化、文書化の充実に向けた取り組みに期待したい。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

1年以上に渡り、毎月第三者評価項目の読み合わせを実施し、かがやきの取り組みを振り返ったことはとても意味のあるものだった。今回の総評の中にある「改善が求められる点」の中で、もっと地域支援を実践してほしいと期待されている。乳児院の子ども達一人ひとりを大切にする実践に加え、地域に目を向けるためには施設長はじめ職員一人ひとりの意識改革が必要不可欠であろう。少子化社会にも関わらず児童虐待やいじめ等々、子どもを取り巻く社会環境は改善に向けた取り組みが必要であるため、少しずつではあるが自分たちにできる地域支援に向けた取り組みを実践していきたい。

⑥第三者評価結果（別紙）